

# 第2学年 道徳科学習指導案

日時 令和5年10月5日(木) 5校時

場所 厚岸中学校 2年A組教室

生徒 第2学年 19名

授業者 教諭 柳 悠仁

## 1. 主題名

「命を大切にすることは／国境なき医師団・貫戸朋子」 内容項目 D-19 生命の尊さ

## 2. ねらい

紛争という極限状況における貫戸朋子さんの判断についての議論を通して、命を大切にすることはどういうことなのかを考えていこうとする態度を育てる。

## 3. 主題について

### (1) ねらいとする道徳的価値について

本題材は「生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること」をねらいとしている。本題材においては特に生命のもつ侵し難い「生命の尊厳性」について考える。「命を大切にすること」を表面的に考えるのではなく、広い視野から生命を多面的・多角的に考えることで生命を心から尊重する態度を養いたい。

### (2) 生徒の実態

普段の学校生活では明るく学校生活を送る中で、気になったことや興味のあることに熱心に取り組む生徒もいたり、授業でも進んで発言したりする生徒もいる。その一方で、集中力が続かないことや説明された内容を理解しきれていない場面も見られる。また、考えていることをうまく言語化することが苦手な生徒も多い。

そのため、教材と向き合う場面では立ち止まり読みをすることで内容の正確な理解に努めるとともに、ロイロノートを活用して自身の考えを率直な言葉で言語化させる工夫を講じていきたい。また、生徒の他者の考えへの共感に寄り添いながら問い返しをすることで自身の考えを伝えたり深めたりすること、他者の考えを理解させることへの工夫を講じた授業を目指したい。

### (3) 教材について

本教材は、国境なき医師団で診療にあたってきた貫戸朋子さんを取り上げ、目の前の男の子の命を救うか、次に来る患者を救うかで葛藤する内容である。極限状況における「命の大切さ」についての判断は容易なことではない。しかし、判断しなければ助けられるはずの命まで失ってしまうかもしれない。このような場面を取り上げることによって、「命の大切さ」について多面的・多角的に考えるきっかけとなるようにしたい。

#### 4. 価値分析表

コールバーグの道徳性の発達段階に照らして、予想される生徒の反応を下表に示した。

「酸素を切るべき」	「酸素を切るべきではない」
<p>第1段階 罰回避と従順志向</p> <p>行為の物理的結果が、その人間的な意味や価値とは無関係に、その善悪を決定する。罰を避けて、権威に対して盲目的に服従する価値を見出す。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・貫戸さんが酸素を切ろうと思ったから。</li> <li>・酸素が足りないのが悪い。</li> <li>・酸素を使い切ってはいけなから。</li> <li>・助からないからしょうがない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師が切ってはいけないと言うから。</li> <li>・もしかしたら助かるかもしれない。</li> <li>・見殺しにしたら罪に問われるかもしれない。</li> </ul>
<p>第2段階 道徳的互惠主義志向</p> <p>正しい行為というのは、自分自身の要求を場合によっては他人の要求を具体的に満たす行為、つまり報酬を得るための手段（道具）となる行為を指している。結果的に利益を得たり、ほめられたりすることが価値あることと考える。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかの助けたい患者を助けることができるから。</li> <li>・目の前の子ども助けたいけど、現実問題として仕方がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目の前の子どもを何とか助けたい。</li> <li>・その子どもが生きたいと思っているのだから切るべきでない。</li> <li>・酸素を切ると後悔すると思う。</li> </ul>
<p>第3段階 他者への同調、あるいは「よいこ」志向</p> <p>正しい行為というのは、他人を喜ばせたり、助けたりすることであり、他人から肯定されることである。多数意見、「自然は（ふつうの）」行動というステレオタイプのイメージに対して同調することが価値あることと考える。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・もし自分がこの子だったら、酸素ボンベを他の人に使ってほしい。</li> <li>・国境なき医師団は、その子だけのためではなくほかの多くの人の期待に応えるべき。</li> <li>・助けられない命よりも、助けられる命を優先したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸素を切れれば、一緒に働く医師や看護師を裏切ることになる。</li> <li>・たとえ助からなくても、その母親は最後まで最善を尽くしてほしいと思う。</li> </ul>
<p>第4段階 法と社会的秩序志向</p> <p>義務を果たし、権威を尊重し、社会的秩序を維持するために伝統的な権威による罰を避けるように同調する中で道徳判断がなされる。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの人の命を助けることが医師としての義務だから。</li> <li>・その子どもの酸素を使うことで、他の人の人間として生きる権利を奪ってしまうかもしれない。</li> <li>・治療を受ける権利はその子どもだけでなく、他の人間にもあるから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を頼ってきた人に対して、医師としての責務（最後まで治療に専念すること）を果たすべき。</li> <li>・酸素を切ることは、その子どもの人間としての生きる権利を奪うことになるのではないか。</li> </ul>

## 5. 本時について

### (1) 町研研究主題との関連

【研究主題】 地域・社会に生きてはたらく力を育む厚岸町の教育  
 ～育成を目指す資質・能力を明確にした授業改善～



【心の教育部会 研究テーマ】

「よりよく生きようとする児童・生徒の育成 ～道徳性を育むための授業づくり～」



【道徳性を育むための授業づくりについて】

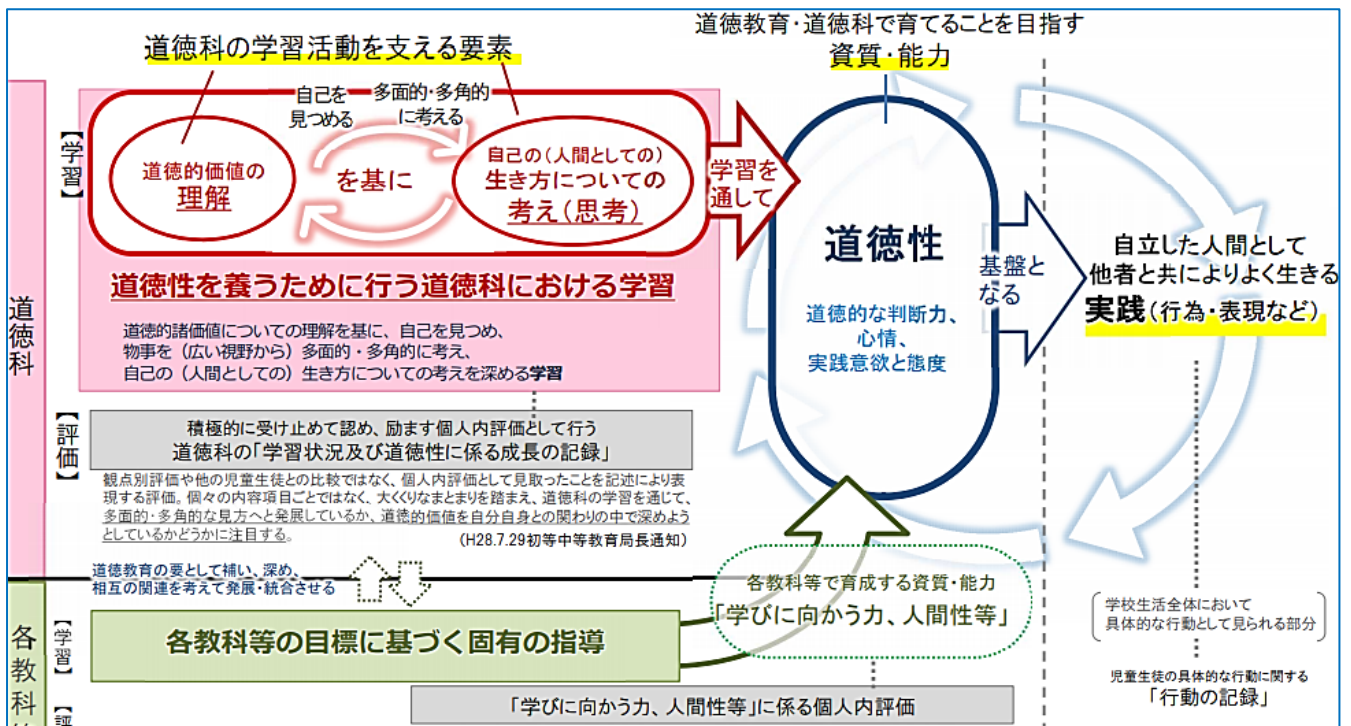
中学校学習指導要領において、道徳性とは、人間としてよりよく生きようとする人格的特性であり、道徳性を構成する諸様相（道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度）を養うことを求めている。とりわけ、道徳的心情は、道徳的価値の大切さを感じ取り、善を行うことを喜び、悪を憎む感情のことであり、人間としてのよりよい生き方や善を志向する感情であるとされる。

一方でこれらの道徳性の諸様相に序列や段階はなく、また、それぞれが独立したものでもない。

このことから、本研究テーマである「道徳性を育む」ために行う道徳科における学習とは「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深める学習」である必要がある。

そこで、本時の授業では「自身の考えを見つめる活動」「他者の考えから物事を多面的・多角的に考える活動」「人間としての生き方について考えを深める活動」を意図的に設定するとともに、多様な考えを持ちやすい主題設定をすることとした。

なお、以下に「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）（中教審第 197 号）別添資料 16-2 小・中学校における道徳教育と資質・能力（イメージ）」を一部抜粋して記載する。



(2) 展開

	○生徒の学習活動と主な発問・予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 (5分)	<p>○命とは何ですか？ 命を大切にしていますか？</p> <p>○国境なき医師団とはどんな団体ですか。</p> <p>・世界で働く医者？ ・医療の発展していない国のための医者？ → 命の危機に直面している人びとを救う団体</p>	<p>・時間をかけずに数名に意見を求める。</p> <p>・国境なき医師団日本／公式サイト参照。</p>
<p>課題：「命を大切にする」とはどういうことだろうか。</p>		
展開 (30分)	<p>○教材を読み、貫戸朋子さんの状況を把握する。</p> <p>○貫戸さんが、自分の判断がよかったのか悪かったのか結論を出せずにいるのはなぜだろうか。</p> <p>○「酸素を切るべき」か「酸素を切るべきではない」か。あなたならどちらの立場だろうか。また、その理由は。</p> <p>・ロイロノートの共有ノートで自分の考えの位置に付箋を貼り、理由と名前を記入する。</p> <p>○もっと詳しく聞きたい意見に「青の付箋」を付箋内に貼り付ける。その後、付箋が多い考えを中心に補足説明や問い返しに答える。</p> <p>・酸素を使い切ってはいけないから</p> <p>・ほかの患者を助けることができるから</p> <p>・もしかしたら助かるかもしれない…</p> <p>○自分とは異なる立場の人とのグループで意見交流をし、自分の立場の考えについて吟味する。</p>	<p>・立ち止まり読みで状況を把握させる。</p> <p>・数名の考えを取り上げる</p> <p>・貫戸さんの立場だと自分はどうか、という視点で考えさせる。</p> <p>・付箋を基に生徒に問いかけを行い、適宜問い返しを行う。</p> <p>← どうして酸素がなくなったらいけないの？</p> <p>← 目の前であきらめられたお母さんの気持ちは？</p> <p>← 貫戸さんは助けたくなかった？</p> <p>※話し合いが一極化しそうな場合、貫戸さん自身は切るという判断をしたことや、その決断を今も悩んでいることなどについて触れる。</p> <p>※グループは3～4人ずつで立場が異なる生徒で構成されるように教師が設定。</p>
まとめ (15分)	<p>○（他の人の意見を聞いて）「酸素を切るべき」か「酸素を切るべきではない」か。あなたならどちらの立場だろうか。また、その理由は。</p> <p>・ロイロノートの共有ノートで自分の考えの位置に付箋を貼り、名前を記入する。</p> <p>○「命を大切にする」とはどういうことだろうか。</p> <p>・教師説話や動画を見聞きし、授業の感想や自己評価を記入する。</p>	<p>・考えの変化に着目し、なぜ考えが変わったのか問う。</p> <p>・貫戸さんの立場で考えさせる。</p> <p>・数名を指名し、考えを板書する。</p> <p>・災害医療やトリアージについて</p> <p>参考：NHK for School 学ぼう BOSAI 命を守るチカラ フライトドクター 06：17～08：00</p>

### (3) 評価と方法

#### 【評価】

生命の尊さについて、他者の考えに触れながら多面的・多角的に考える活動を通して、命を大切に  
する生き方について自身の考えを持とうとしている。

#### 【方法】

- ・ 授業中の発言内容や話し合い、ロイロノートの記載内容。

### (4) 板書計画

国境なき医師団・貫戸朋子  
→ 命の危機に直面している人々を救う  
課題 「命を大切にする」とはどういうことだろうか。

○ 貫戸さんが結論を出せずにいるのはなぜ？

- ・ もしかしたら助かったかもしれない
- ・ 男の子の気持ちを考えたら…
- ・ 自分の判断は正しかったのか…

A… 田中、伊藤、佐藤  
B… 佐々木、中田、後藤  
C…  
D…  
E…

◎ 「命を大切にする」とはどういうことだろうか

- ・ あきらめないこと
- ・ 目の前の命に全力
- ・ それぞれの立場を考える

### (5) 共有ノート計画

